

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月14日
事業名	街頭消火器購入事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	6
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	町内に設置してある老朽化した街頭消火器を更新し、火災発生時の初期消火活動の強化・充実				
対象 (誰を・何を)	町内に設置してある街頭消火器				
内容	町内に設置してある街頭消火器の保守点検、維持管理及び更新				
根拠法令・条例等	大磯町地域防災計画				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,401	1,669	547
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,401	1,669	547
	職員人数 (概算職員数)	人			0.95
	人件費計 (b)	千円			5,578
総事業費 (a)+(b)	千円	1,401	1,669	6,125	
事業費内訳 H 25 年度	需用費：499千円 役務費：48千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 大磯町民 (4/1現在)	人	32,791	32,587	32,625
	② 更新予定数	本	150	150	50
活動指標 (活動量)	① 火災発生時の街頭消火器使用実績	本	1		
	② 更新数	本	106	150	50
成果指標 (達成度等)	① 消防署管理当初からの街頭消火器使用実績		平成8年～平成25年4月までの間、21件の火災で使用		
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
	・実施手段は妥当か	理由	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 老朽化した消火器もあるが、初期消火に必要な状態に維持管理されている。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 老朽化した街頭消火器の更新を行っているが、10年以上経過している消火器が約750本設置されている。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input checked="" type="checkbox"/> 非効率的 <input type="checkbox"/> その他 火災発生時の使用実績や近隣市町の設置状況からすると、やや非効率である。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 平成16年に20型から10型の消火器へ変更を行う。平成20年度に約1,800本の設置から約1,500本へ削減を行う（町民・地区長・議会への周知報告済み）。平成25年4月から9月末までを予定し家庭用消火器の普及啓発・設置率の調査を実施している。
	担当課による評価	<input type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input checked="" type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 平成25年4月から9月末までを予定し家庭用消火器の普及啓発・設置率の調査を行っており、設置基準の作成を行う。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	平成25年4月から9月末までを予定し家庭用消火器の普及啓発・設置率の調査を行っている。街頭消火器設置基準を作成し設置本数の見直しを行う。
② 平成26年度に着手する事項	街頭消火器設置基準を作成し適正配置を行う。
③ その他（課題、調整事項等）	適正配置のための街頭消火器設置基準の作成。

6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

平成25年度中に作成する、街頭消火器設置基準を基に配置を行うとともに、町内に設置してある老朽化した街頭消火器を更新し、火災発生時の初期消火活動の強化・充実を図る。
